

製品安全データシート

作成日：2001年5月15日

改訂日：2008年6月23日

1. 製品名及び会社情報

製品名：水垢取りワックス

供給者情報

会社名：エフイートレード株式会社

住所：神奈川県藤沢市弥勒寺75-1

TEL：0466-50-2422

FAX：0466-50-2430

担当部署：商品管理部

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響：引火性液体

GHS分類

物理化学的危険性：引火性液体 区分3

健康に対する有害性

：急性毒性（経口） 区分外

：急性毒性（経皮） 区分外

：急性毒性（吸入・蒸気） 区分外

：皮膚腐食性/刺激性 区分2

：眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2B

：呼吸器感作性

：皮膚感作性

：生殖細胞変異原性 区分外

：発癌性 区分2

：生殖毒性

：特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） 区分3

：特定標的臓器/全身毒性（反復暴露） 区分2

：吸引性呼吸器有害性 区分外

環境に対する有害性

：水生環境有害性（急性） 区分1

：水生環境有害性（慢性） 区分1

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

：警告

危険有害性情報

：引火性液体及び蒸気

皮膚刺激
 眼への刺激
 発癌のおそれの疑い
 呼吸器への刺激のおそれ
 眠気及び目眩のおそれ
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害の恐れ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

- : 容器を密栓しておくこと。
- : 熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけること。-禁煙。
- : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
- : 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- : 火花を発生しない工具を使用すること。
- : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- : 環境への放出を避けること。
- : 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- : 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- : 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- : 皮膚にかかった場合は、直に汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- : 皮膚に付着した場合：多量の石鹼水で洗い流すこと。
汚染された衣類を再使用する場合には選択をすること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。
- : 眼に入った場合：多量の水で15分以上良く洗い流すこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- : 漏出物を回収すること。
- : 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
- : 施錠して保管すること。
- : 容器を密栓して換気の良いところで保管すること。
- : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区分：混合物

成分	CAS No.	含有量 (%)
ミネラルスピリット	64742-82-1	30～35
灯油	8008-20-6	15～20
モルホリン	110-91-8	1～2
脂肪酸	非公開	1～5
シリコーンオイル	非公開	5～10
研磨剤	非公開	10～15
水	7732-18-5	非公開

4. 応急措置

眼に入った場合

- ・直に多量の水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- ・直に石鹼水で洗い流し、異常がある場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合

- ・使用中に気分が悪くなった場合は、直に作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- ・水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水又は牛乳を飲ませ、無理に吐かせないで直に医師の診断を受けること。被害者に意識がない場合は、口からものを与えてはいけない。

5. 火災時の措置

消化剤

- ・粉末消化剤、泡消化剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消化剤

- ・冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・漏出した場所に、ロープを張るなどをして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・屋外の場合、処理が終わるまで十分に洗い流す。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・こぼれた場合はすべりやすい為、注意する。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・漏出物を直接に河川や下水に流さない。

漏出した場合

- ・少量の場合は、おが屑などの吸収剤で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
- ・土砂等で困って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。
- ・流出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。
- ・付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消化剤を準備する。
- ・火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

- ・取扱いは換気のよい場所で行い、発散した蒸気を吸い込まないようにすること。
- ・保護眼鏡、保護手袋等を着用し、眼と皮膚との接触を避ける。
- ・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- ・容器を転倒または落下させたりして、衝撃を与えてはならない。

保管上の注意

- ・直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密栓し保管する。
- ・酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
- ・他の容器に移し替えて保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 屋内での取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。
管理温度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない
ACGIH	: TLV-TWA 200mg/m ³ (皮) (as total hydrocarbon vapor) -ミネラルスピリット
保護具	
保護眼鏡	: 適切な保護眼鏡を着用する。
保護手袋	: 耐久性のよい保護手袋を着用する。
保護衣	: 必要に応じて保護衣を着用する。
呼吸保護具	: 保護マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 乳白色エマルジョン
臭気	: 石鹼臭
pH (原液)	: 8.2 (代表値)
融点/凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 56℃
発火点	: データなし
爆発限界	: 下限・上限 データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 0.94 (25℃)
溶解性	: 水に溶ける
オクタノール/水分配系数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	
・通常の条件では安定	
避けるべき条件	
・有害な情報なし	
避けるべき物質	
・ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質	
危険有害な分解性生物	

- ・有害な情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 何度も繰り返し、もしくは長時間接触すると、皮膚の脱脂及び乾燥をもたらす、刺激を生じ皮膚炎を起こすこともある。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 機械的な刺激がある。
発癌性	: 情報なし

12. 環境影響情報

魚毒性	: 情報なし
分解性	: 情報なし
環境基準	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

- ・容器、機械装置等の洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・廃液は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に適切な処理を委託する。

使用済容器

- ・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者に適切な処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: 情報なし
国連番号	: 情報なし
国内規制	
港則法	: 情報なし
船舶安全法	: 情報なし
航空法	: 情報なし

輸送時の安全対策及び条件

- ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下。破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・引火性液体なので火気厳禁。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: 該当物質の含有量が1%未満の為、適用外。
労働安全衛生法	
危険物	: 施工令別表第一危険物（引火性の物）
有機則	: 施工令別表第6の2 有機溶剤（第3種有機溶剤）
第57条の2第1項 通知対象物	: No. 380[灯油]、No. 551[ミネラルスピリット]、 No. 604[モルホリン]
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 第4類第2石油類（水溶性） 危険等級Ⅲ

16. その他の情報

※この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しておりますが、注意事項は通常の実施を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は含まれておりません。
取扱いの際にはこのデータシートを参考として適用法令に従い、自らの責任において使用条件、使用目的を考慮の上、適切な取扱いが必要であることを認識頂き活用されますよう、お願い致します。